

平成30年 重点3課題に対する小・中学校、中等教育学校シートⅡ(3) <年度末用>

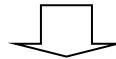
新潟市立庄瀬小学校 (学番: 1603)	重点 3課題	②自律性と社会性を育む生徒指導の推進
-------------------------	-----------	--------------------

- 判断基準 A : 具体的な活動がなされて目標が達成できた
B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

1 自己評価

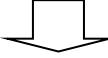
<評価> A	<根拠> <p>児童アンケートを加味した教師の分析評価では「自分や友達のよいところが分かる」と肯定的にとらえている評価できる児童は99%，児童アンケートで「自分はクラスやひまわり班で役に立ったり、必要とされたりしている。」と肯定的にとらえていると評価している児童の割合は95%であった。</p> <p>教科、帰りの会、行事の後など学校生活の様々な場面で互いのよさや頑張りを認め、伝え合う活動を継続的に行ってきました成果だと言える。</p>
------------------	--

2 学校関係者による評価と意見



<評価> A	<意見> <p>学校でも家庭でも、いじめや虐待など、子どもの人権が妨げられることがなければまずはよい。あとは、どのように社会性を身に付けていくかがポイントになると思う。</p> <p>中学校で不登校になる子どもなど、慣れ親しんだ環境や人間関係の中では、うまく対応できるが、環境が変わり、大きな集団になったときに、社会にとけ込めず、うまく適応できないことがあることも事実である。心のたくましい子どもになってほしい。</p>
------------------	---

3 自己評価及び関係者評価に基づいた改善策



学級やひまわり班など、様々な場面で一人一人が大切にされ、互いの良さを認め合える支持的風土が全校にある。子ども同士、安心して、思いやりをもってかかわる姿も多く見られる。毎日の授業や帰りの会でのほめ合い活動、全校登山・ひまわりフェスティバル、ひまわり長縄大会などの行事で、一人一人が活躍できる場を設定した上で、良さを伝え合う活動を多く取り入れてきた成果と言える。また、担任だけでなく、全職員が子どもたちに声を掛けたり見守ったりしてきたことは、子どもが安心して学校生活を送ることにつながっていると考える。
今後も、子どもたちの温かい人間関係作りを継続していくために、今年度の取組を継続していく。さらに、来年度は、ひまわりタイムにペア学年活動も取り入れるなど、様々な集団でのかかわり合いの場を設けていきたい。そして、より多くの人とかかわり合うことで、より自信をもって活動できるようにしていく。